

# 近世東北における陸奥国二本松藩町村と越後国との人口移動

## Migration into a Post Town and Surrounding villages in Nihonmatsu Domain from Echigo Province in Early Modern Northeastern Japan

長岡篤（麗澤大学経済社会総合研究センター）、  
黒須里美（麗澤大学）、高橋美由紀（立正大学）

Atsushi NAGAOKA (Reitaku Institute of Political Economics and Social Studies),  
Satomi KUROSU (Reitaku University), Miyuki TAKAHASHI (Rissho University)  
anagao08@reitaku-u.ac.jp

本研究は、陸奥国二本松藩（現在の福島県の一部）に残る「人別改帳」から構築された歴史人口に関する「ザビエルデータ」を用い、郡山上町、仁井田村、下守屋村、日出山村（以下、4町村）に関する人口の地理的な移動のうち、特に越後国の村との移動を対象とする。町村間の移動数、移動理由、地理的傾向（町村間の距離及び標高差）、移入元・移出先の村高を把握することで、4町村と越後国との移動が近隣の村との移動と、どのような違いがみられるのかを視覚的にも明らかにする。歴史人口学は国際的な研究が進んでいるが、史料の制約から地理的な移動に関するデータは困難であり、研究蓄積は現在のところ少ない。そのような状況において、本研究で扱う移動データにより、1720年から1869年の約150年間の移動の詳細が把握できることは、有意義である。

分析は、4町村と移出先・移動元の村数1,705（このうち越後国の村589）と移動数20,215（このうち越後国との移動数3,681）を対象とする（表1及び2）。4町村と越後国の村は約100km以上の距離にあるものの、郡山上町との移動では村数で約45%、移動数で約27%と高い割合を占めている。全移動数は4町村とも一定の移動数がある。しかし越後国との移動では、移出はほとんどみられず、移入は郡山上町では全移動数の約32%を占めるものの、3村では全移動数に占める割合は3~10%と違いがみられる。

報告では、越後国のどの村との移動が多いのか、移動理由や年代による違いについて、宿場町である郡山上町と周辺3農村による違いを中心に考察する予定である。  
引用文献：長岡篤、高橋美由紀、黒須里美（2019）「近世東北の人の移動：二本松藩町村の比較」、日本人口学会第71回大会

表1 移入元・移出先の村数

町村	全村数			うち、越後の村数		
	移出	移入	計	移出	移入	計
郡山上町	135	960	1,095	7	484	491
仁井田村	73	172	245	2	61	63
下守屋村	50	102	152	0	9	9
日出山村	60	153	213	0	26	26
計	318	1,387	1,705	9	580	589

表2 移入数及び移出数

町村	全移動数			うち、越後との移動数		
	移出	移入	計	移出	移入	計
郡山上町	2,117	10,086	12,203	10	3,252	3,262
仁井田村	1,833	1,838	3,671	4	240	244
下守屋村	1,150	866	2,016	0	32	32
日出山村	897	1,428	2,325	0	143	143
計	5,997	14,218	20,215	14	3,667	3,681

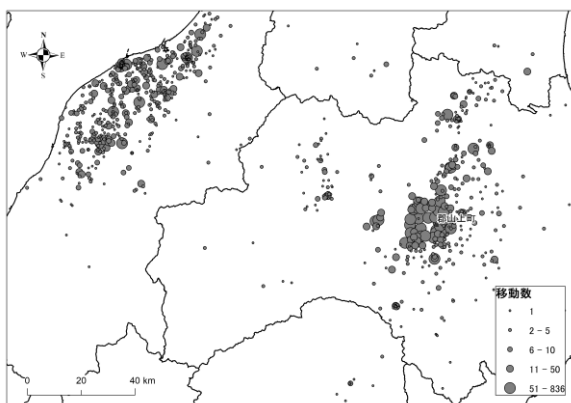


図 郡山上町の移入元・移出先の村の分布